

令和3年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（小島建設株式会社）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容> 導入機器：ドローン

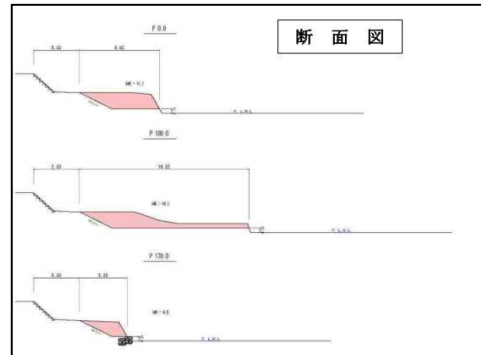
<参加者> 9名（建設会社：4社5名、県職員：2名、市町村職員：2名）

<工事概要> 工事名：3か年第19-6号 松田川 3か年緊急対策工事
 請負代金：17,897,000円、工期：令和3年9月22日～令和4年3月20日
 工事内容：河床掘削 V=6, 400m³

協議・工程管理に
上空写真を利用



導入したドローン(PHANTOM4 PRO V2.0)



プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価	施工者のコメント
発注者との協議	ドローン	発注平面図を使用	ドローンで撮影した上空写真を使用	-2%	実際の着手前の状況把握が容易になり、協議がスムーズに進んだ。	今回導入したドローンは、GPS内蔵タイプなのでホバリングが可能で、必要な箇所の撮影が容易にできた。また、ドローン撮影を利用している会社との認識を発注者や周辺関係者に認識してもらい、会社のイメージアップになった。
協力会社との協議		公開されている地図情報を使用			協力会社との協議の際、実際の現場状況を説明出来た。	
周辺関係者との協議					工事現場と隣接地が目視で確認できたので、お互いの理解が早かった。	
工程管理		月末の進捗状況が具体的に確認出来た。		-1%		
合計				-3%		

発注者のコメント

今回導入したドローンで撮影した上空写真を協議資料や工程管理に使用した。工事区域全体を鳥瞰できたことで、関係者との意思疎通や工程把握を円滑に行うことができ、工事の効率化につながっている。